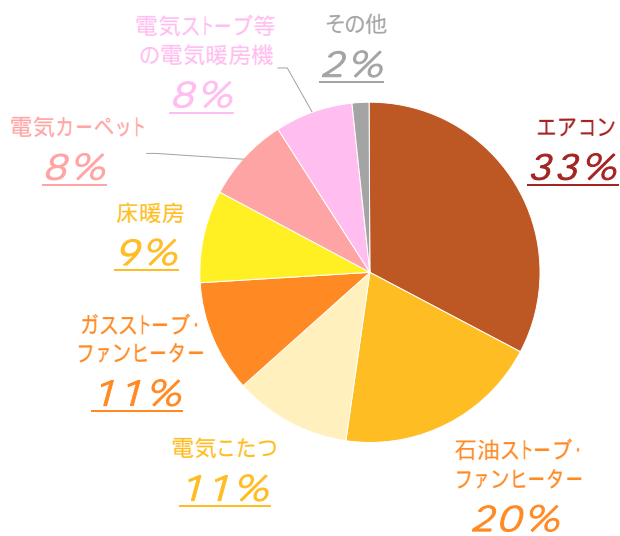


1 リビングの暖房器具の使用実態

- リビングで使用する暖房器具において、エアコンの使用率は最も高い。
- 暖房において重視する点では、「光熱費が安い(62%)」が最も高かったが、使用率が最も高いエアコンを使用する理由において「光熱費が安い」を選択した割合は8%と低く、この割合は他の暖房器具と比べても最も低い。
- 暖房使用時間が長くなるほどエアコンの使用率が減少傾向にある点からみても、エアコンの「光熱費の安さ」に対する認識が低いことが推察される。

Q1:リビングにおいて**メインで使用**する暖房器具はなんですか? 「メインで使用」とは、最も使用時間が長いという意味です。



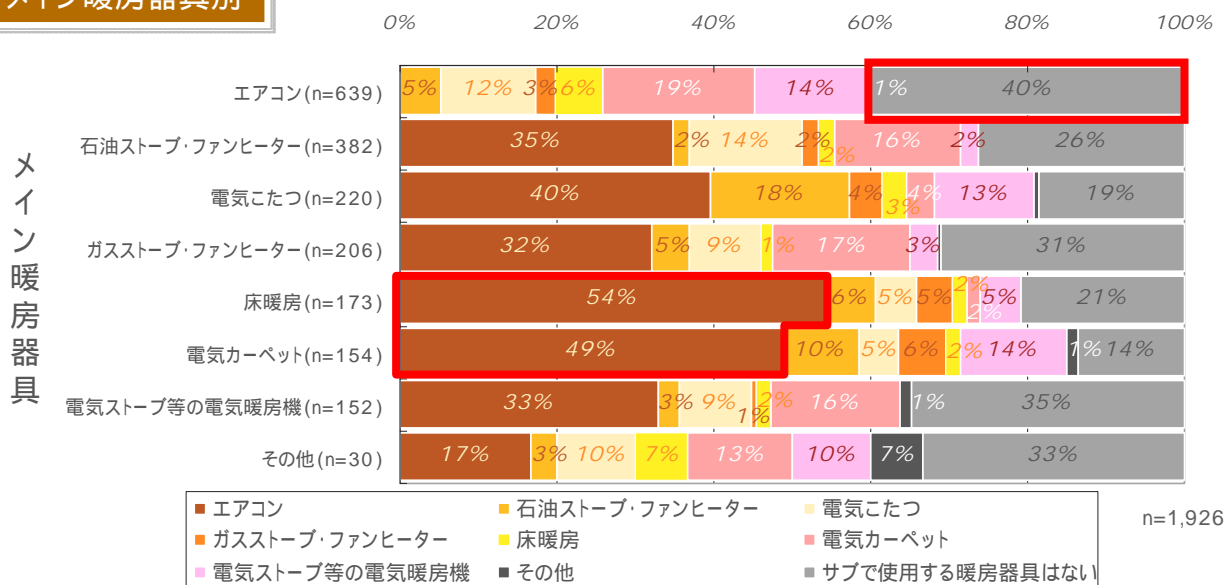
メイン暖房はエアコンの使用率が最も高い。次いで、石油ストーブ・ファンヒータ、電気こたつの順。

n=1,956

「この部屋で暖房器具は使用しない」、「この部屋には暖房器具がない」、「この部屋はない」回答者は除く

Q2:リビングにおいて**サブで使用**する暖房器具はなんですか? 「サブで使用」とは、メインの次に使用時間が長いという意味です。

メイン暖房器具別

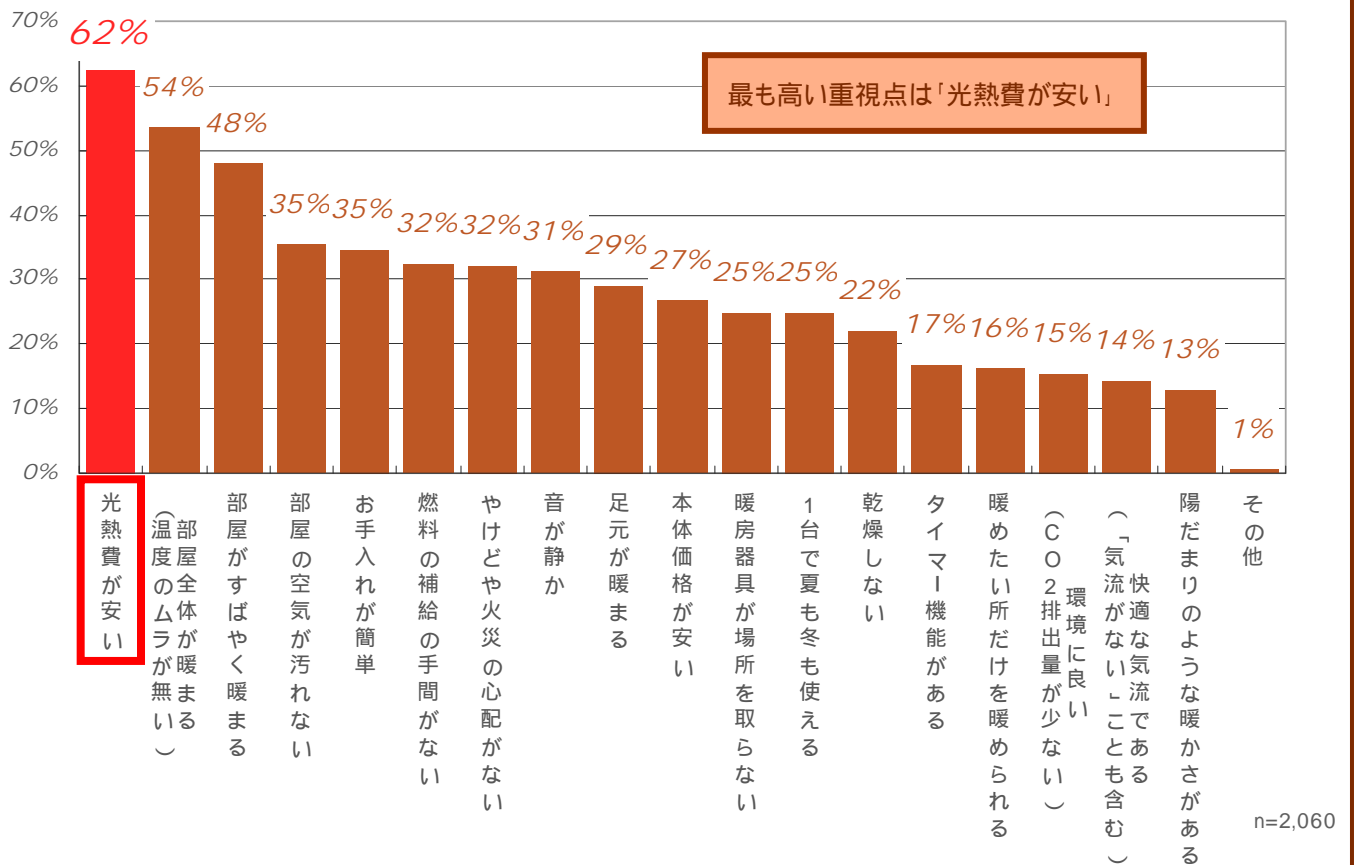


n=1,926

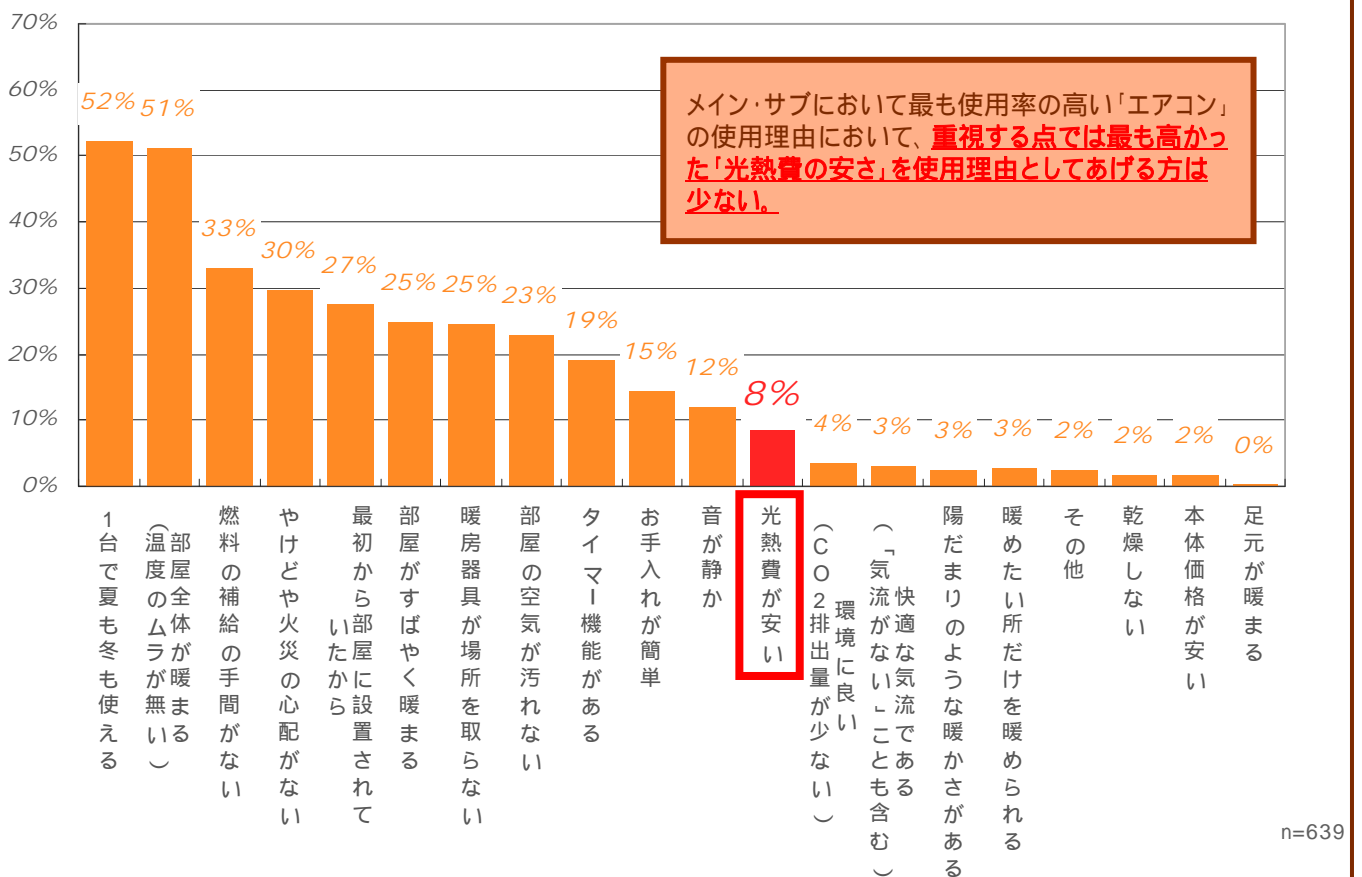
メイン暖房器具において「その他」と回答した方はn数が少ないため除く

エアコンをメインに使用している方の40%は、サブ暖房は何も使用していないのに対し、床暖房、電気カーペットをメインに使用している方は、約半数がエアコンをサブ暖房として使用している。

Q3: あなたが暖房で重視するのはどのようなことですか？ (MA)

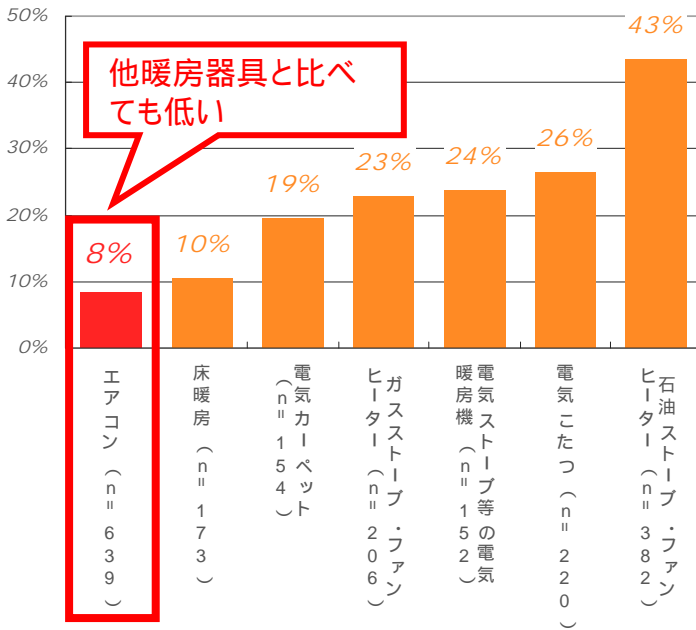


Q4: (リビングでエアコンをメイン暖房として使用している方に) エアコンを使用する理由はなんですか？ (MA)



Q5: リビングでそのメイン暖房器具を使用する理由は何ですか？ (MA)

エアコン以外の暖房器具の使用理由において「光熱費が安い」を理由として挙げた割合

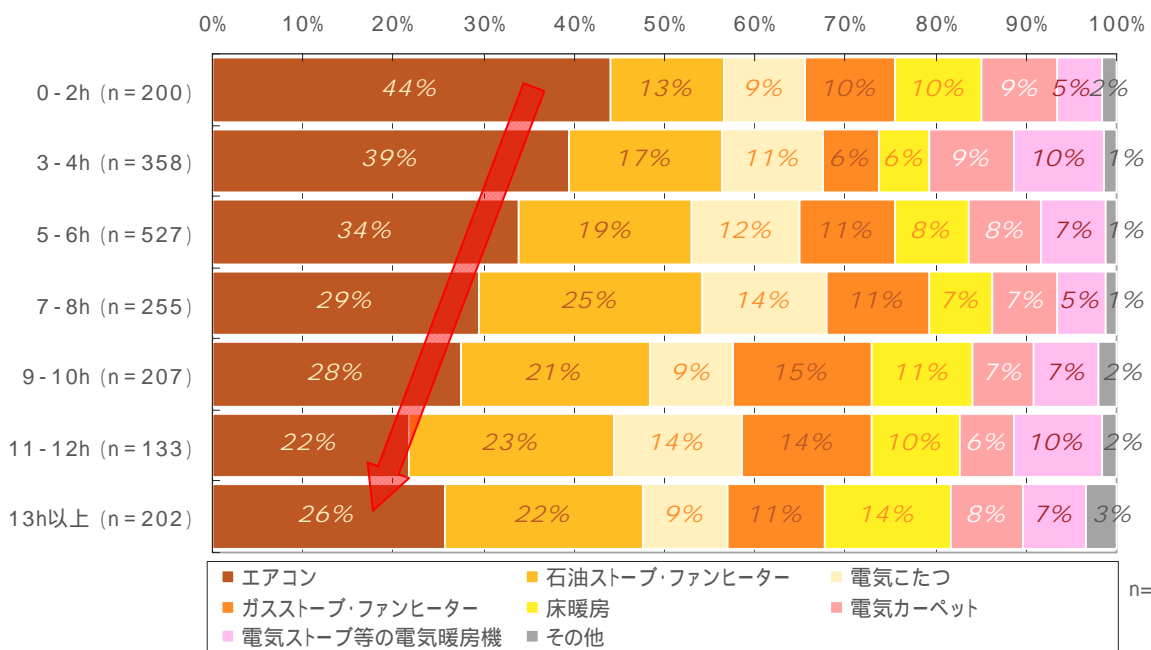


他暖房器具の使用理由で比べてもエアコンは「光熱費が安い」と思っている割合は低い結果となった。

n=1,926

メイン暖房器具において「その他」と回答した方はn数が少ないため除く

Q6: 冬の寒い時期、リビングでメイン暖房器具を平日に1日何時間使用しましたか？ × メイン暖房器具(リビング)

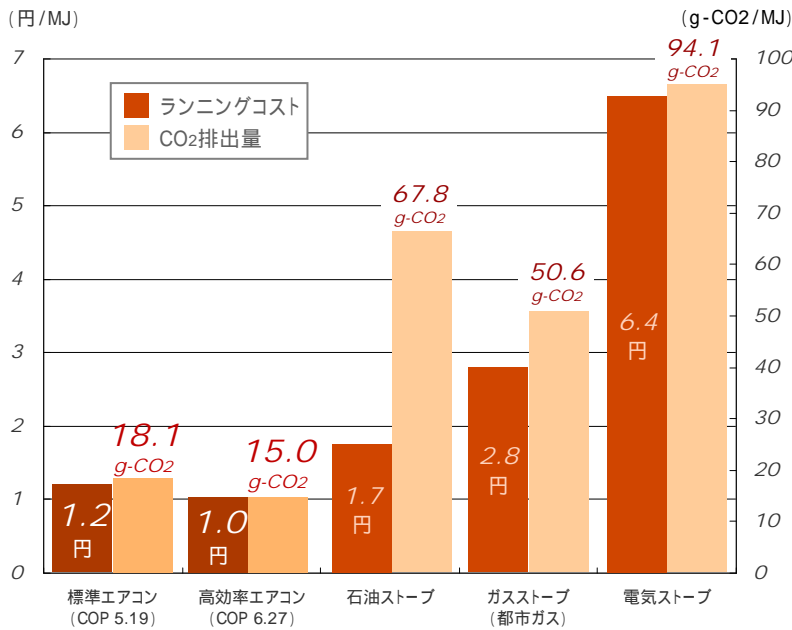


n=1,882

使用時間別にメイン暖房器具をみると、使用時間が長い方ほどエアコンの使用率が減少傾向にある。この点からも「光熱費が安い」という認識が低いことが推察される。

暖房時の重視点である「光熱費の安さ」は、まだエアコンでは認められていない **暖房機器のコスト比較については次ページを参照**

暖房機器別のランニングコストおよびCO2排出量比較 (1MJあたりのコスト)



MJ(メガジュール)は熱量を表す値です。

エアコンの効率は外気温、住宅構造、室内条件等によって異なります。左記データにおけるエアコンの値は、カタログに掲載されているJIS標準条件の外気温7℃の効率での試算値です。外気温2℃時の試算では高効率エアコンのコストは約2.0円、CO2排出量は29.4[g-CO2/kWh]です。

【計算根拠】以下の冷房能力2.8kWエアコン(全て松下電器産業(現 パナソニック(株))製2008年モデル)のカタログ掲載の効率値を基に算出。

【標準エアコン】CS-H289A、暖房COP 5.19

【高効率エアコン】CS-X289A、暖房COP 6.27(外気温2℃時の暖房COPは3.20)

ガスストーブ、石油ストーブ、電気ストーブは機器効率1.0としました。

【試算条件】電気料金:22.86円/kWh(税込)東京電力「従量電灯B」第2段階料金(平成20年9月)

ガス料金:126.98円/m3(税込)東京ガス「一般契約」料金表B東京地区等(平成20年4月)

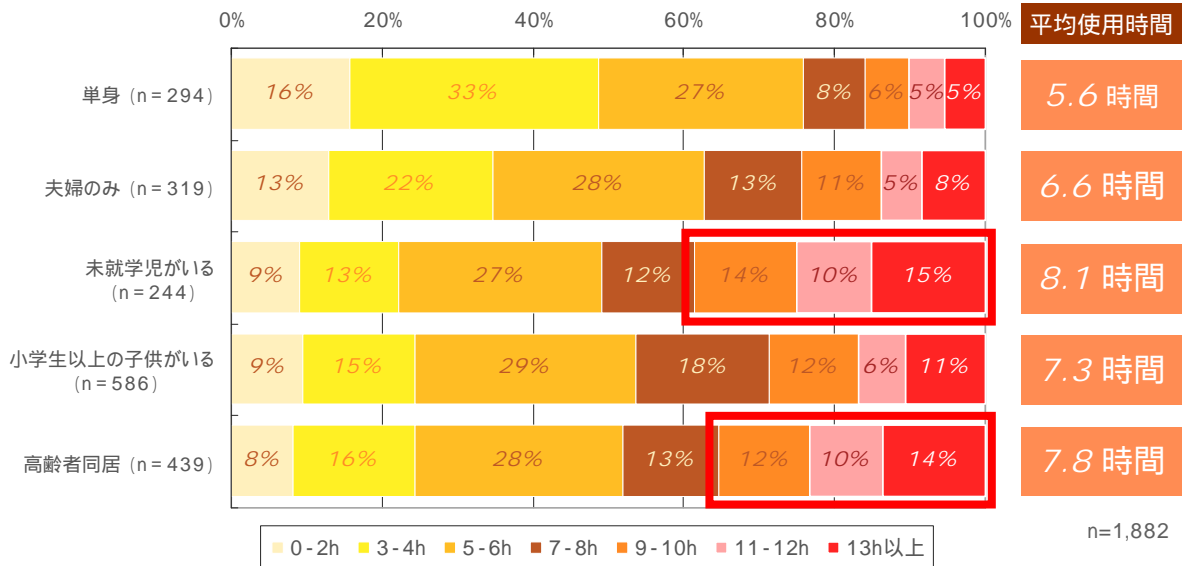
灯油料金:1,131円/18L(税込)石油情報センター 民生用灯油(給油所以外)価格調査(消費税込店頭価格)(関東局)(平成21年3月)

CO2排出原単位:「地球温暖化対策推進に関する法律施行令」より電気は0.339kg-CO2/kWh(新潟県中越沖地震以降の柏崎刈羽原子力発電所停止による影響がない2006年度東京電力実績。なお、2008年度実排出原単位は0.418 kg-CO2/kWh)

同じ熱量を発生させる場合の暖房器別コストを試算比較すると、エアコンは、ヒートポンプ技術により、1のエネルギーで5～6倍()のエネルギーを発生させることができるので、最も低コストかつCO2排出量の少ない暖房器具です。

最も効率的に稼働した場合。効率は住宅構造や外気温等の運転状況によって異なります。

世帯構成別に暖房使用時間(平日)をみると 暖房器具は問わず



世帯構成別にメイン暖房の使用時間をみると、『未就学児がいる世帯』や『高齢者が同居している世帯(高齢夫婦も含む)』は在宅時間も長いため、長時間暖房の比率が高い。

長時間暖房を使用する方には、省エネなエアコン暖房をオススメします。